

製品名: Abi-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06448**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	ABI1 ABI1; SSH3BP1; Abl interactor 1; Abelson interactor 1; Abi-1; Abl-binding protein 4; AblBP4;
別名	Eps8 SH3 domain-binding protein; Eps8-binding protein; Nap1-binding protein; Nap1BP; Spectrin SH3 domain-binding protein 1; e3B1
遺伝子 ID	10006.0
SwissProt ID	Q8IZP0
免疫原	抗血清はヒト Abi-1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 152-201

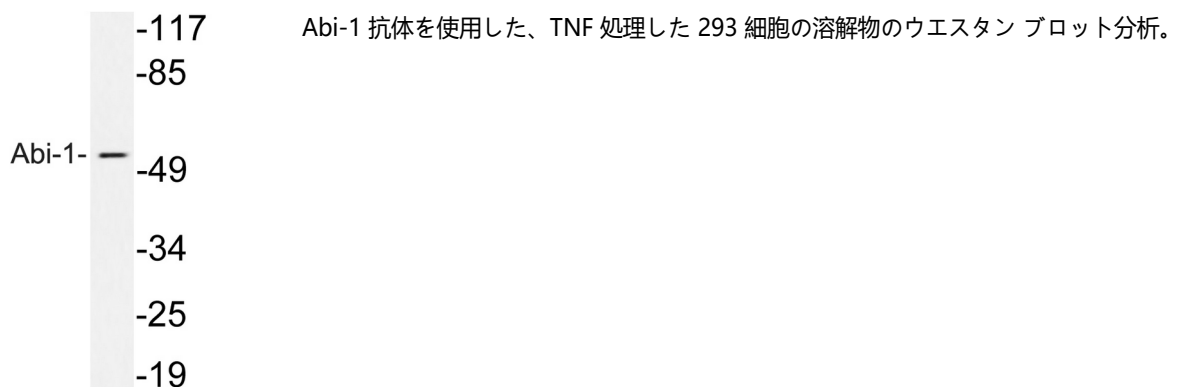
背景

この遺伝子は、アベルソン相互作用因子ファミリーに属するアダプタータンパク質をコードしています。これらのタンパク質は、複数の多タンパク質複合体の構成要素としてシグナル伝達を促進し、アベルソンチロシンキナーゼとの相互作用を介してアクチンの重合および細胞骨格リモデリングを制御します。コードされているタンパク質は、WAVE2 複合体の構成要素としてマクロピノサイトーシスに関与するほか、EPS8 および SOS1 と複合体を形成し、Ras から Rac へのシグナル伝達を媒介します。この遺伝子は、悪性黒色腫、大腸がん、乳がんなどの複数の悪性腫瘍の進行に関与している可能性があり、この遺伝子と MLL 遺伝子を含む t(10;11)染色体転座は急性骨髄性白血病と関連付けられています。この遺伝子については、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されており、この遺伝子の擬似遺伝子は染色体 14 の長腕に位置しています。[RefSeq 提供]代替製品: 追加のアイソフォームが存在するようです。疾患: ABI1 に関連する染色体異常は、急性白血病の原因です。転座 t (10;11) (p11.2;q23) と MLL。急性白血病 MLL-ABI1 融合転写産物に ABI1 アイソフォーム 2 が存在することがわかりました。、ドメイン: t-SNARE コイルドコイル相同ドメインは、STX1A との相互作用に必要な十分です。、機能: 非受容体チロシンキナーゼ ABL1 および/または ABL2 と相互作用することにより、細胞増殖および形質転換の負の制御に作用する可能性があります。EGF 誘導性 Erk 経路活性化の細胞骨格の再構成および EGFR シグナル伝達に関与する。EPS8 と共に、Ras から Rac へのシグナル伝達に関与する。in vitro において、ABI1、EPS8、および SOS1 の三量体複合体は Rac 特異的なグアニンヌクレオチド交換因子 (GEF) 活性を示し、ABI1 は複合体においてアダプターとして機能すると考えられる。ABL1/c-Abl を介した MENA のリン酸化を制御する。WASF1 をラメリポディアにリクルートし、そこで WASF1 タンパク質レベルを制御すると考えられる。、PTM: v-Abl の in vitro 基質 (類似性による)。血清刺激または v-Abl による誘導後、チロシン残基がリン酸化されます。、類似性:ABI ファミリーに属します。、類似性:1 つの SH3 ドメインを含みます。、類似性:1 つの t-SNARE コイルドコイル相同ドメインを含みます。、細胞内局在:突出したラメリポディアおよびフィロポディアの先端に局在します。また、神経細胞の成長円錐およびシナプトソームにも局在します。、サブユニット:ABL1、MENA、STX1A、SNAP25、VAMP2、EPS8 と相互作用し、N 末端を介して WASF1 とも相互作用します。ABI1、STX1A、および SNAP25 からなる複合体の一部です。ABI1、EPS8、および SOS1 からなる複合体の一部です (類似性による)。SOS1、SOS2、GRB2、SPTA1、および NCK1 の最初の SH3 ドメインと相互作用します。アイソフォーム 6 は NCK1 と相互作用しない。ABI1、CYFIP1/SRA1、NCKAP1/NAP1、WASF2/WAVE2 からなる WAVE2 複合体の構成要素である。、組織特異性: 広く発現しており、脳で最も高い発現を示す。、

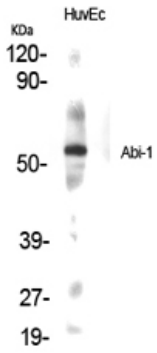
研究分野

-

画像データ



Abi-1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



Abi-1 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析

